

2014年7月24日

公益財団法人 日本サッカー協会  
2014年度 第8回理事会

## 追認事項

|   |
|---|
| 1. 日本人指導者海外派遣の件   |
| <p><b>(追認) 資料No. 1</b></p> <p>下記各国サッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者、派遣先協会との契約締結をお諮りしたい。</p> <p>派遣指導者： 関口 潔 (せきぐち きよし) (45歳)</p> <p>派遣先協会： 北マリアナ諸島サッカー協会 (N M I F A)</p> <p>資 格： AFCプロディプロマコーチ (2012年取得)<br/>公認A級コーチ (2005年度取得)</p> <p>役 職： 北マリアナ諸島代表監督</p> <p>契約期間： 2014年7月1日～2016年1月31日</p> <p>費用負担： [J F A] 給与及び傷害保険料<br/>[N M I F A] 住居、自動車、日本～サイパン間の往復航空券</p> <p>略 歴： 添付別紙のとおり</p> <p>&lt;背景及び実施理由&gt;</p> <p>関口氏は2011年まで北マリアナ諸島代表監督を務めていたが、当時、米国の雇用情勢の悪化が影響して労働ビザの更新が難しくなり、北マリアナ諸島サッカー協会 (N M I F A) が弁護士に依頼して諸々ワークするも更新できず、止む無く契約を中途解約するに至った。</p> <p>その後、北マリアナ諸島独自のビザの制度 (コモンウェルスビザ) が新設されたため、今年に入り、弁護士より関口氏のビザが取得可能との情報を得たN M I F Aから再度、派遣の打診があった。関口氏は6月末までラオスサッカー連盟技術委員長としての契約があったため、その満了を待ってN M I F Aへの派遣交渉を予定していた。ところが、7月20日から始まる東アジアカップ1次予選に監督として指揮をとってほしいとN M I F Aから強い要請があり、それに応えるべく関口氏には既に7月9日に現地へ赴任してトレーニングを開始してもらっている。</p> <p>そのため、本件は追認事項としてお諮りしたいもの。</p> |
| 2. 海外指導者資格審査の件  |
| <p>下記クラブより申請のあった指導者資格審査について、本協会技術委員会にて審議の結果、S級コーチライセンスと同等以上の資格を有しているものと認定する。</p> <p>■セレッソ大阪</p> <p>氏 名： Marco Pezzaiuoli (マルコ ペッツァイオリ)</p> <p>国 籍： イタリア</p> <p>生年月日： 1968年11月16日</p> <p>主な指導歴： 1991年～2000年 カールスルーエ SC ユースコーチ (ドイツ)<br/>2000年～2003年 カールスルーエ SC アシスタントコーチ<br/>2003年～2006年 水原三星ブルーウィングスアシスタントコーチ (韓国)<br/>2007年～2008年 U-16 ドイツ代表監督</p>   |

|             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 2008年～2009年 | U-15 ドイツ代表監督                     |
|             | U-17 ドイツ代表監督                     |
|             | U-18 ドイツ代表監督                     |
| 2010年       | TSG1899 ホッフェンハイム アシスタントコーチ (ドイツ) |
| 2011年       | TSG1899 ホッフェンハイム監督 (ドイツ)         |
| 保有ライセンス     | : 2007年 UEFA PRO Licence         |